

# 未来へ夢と希望のまちづくり

町政執行方針並びに教育行政執行方針を表明

3月6日に開催された「平成24年鹿追町議会第1回定例会」で、吉田弘志町長から「町政執行方針」が、また臼井あや子教育委員長から「教育行政執行方針」が述べられました。その概要をお知らせします。

## 平成24年度 町政執行方針

鹿追町長 吉田 弘志



### はじめに

平成24年第1回議会定例会が開催されるにあたり、町政執行の方針を申し上げます。

各議員におかれましては平素より鹿追町民の幸せと鹿追町の勇躍発展のためにご尽力を賜り、心から感謝と敬意を表します。

特に、昨年は議会が町民ニーズを真摯に受けとめ、町づくり に反映させるべく、平成22年3月に制定された鹿追町議会基本条例を議会改革の基調とし、広報・広聴活動を定期的に実施す

るなど、「行動する議会」として、あるべき姿を内外にお示しいただいていることに深く敬意を表する次第です。

昨年の東日本大震災が多くの尊い生命・財産を奪ったことに加え、福島原子力発電所事故は、日本列島全体を政治・経済ともに混乱の余儀なき途へと落しめました。

特に、原子力発電事故の余波は途方もない年月と巨額の復興費を必要とするばかりか、これまでエネルギー需要の多くを原子力発電に依存してきた我が国にとつての影響は甚大といわな

ければなりません。

ドイツの哲学者であるマルティン・ハイデッガー氏は次のように語っています。

「原子力の平和利用が人間の全ての目標設定と使命を規定するようになると、人間は自ら本質を失わねばならぬ」と述べ、チェルノブイリや今度の福島原子力発電所事故など、原子力が人類や自然などに対して、いかに物質的、精神的な危険性を秘めているかを示唆しています。

私も地方は、原子力発電所の所在地から遠隔地にあたるとはいえず、そのエネルギーを享受している以上、この問題と向かい合った中で、今後の地方自治体のあるべき姿を描く必要を感じます。

このような思いを念頭に、平成24年度予算編成をしましたので、説明をいたします。

### 平成24年度予算

各会計当初予算について申し上げます。

予算規模であります。一般会計で57億5500万円、特別



会計では、老人保健特別会計が廃止予定のため、6特別会計で約23億6700万円、全7会計約81億2200万円の予算です。

これを、平成23年度骨格予算に政策予算を追加補正した予算額と比較しますと、一般会計については4億6400万円の増であり、その主たる要因は、継続事業である瓜幕川用水施設整備事業および東瓜幕西19線改良舗装事業の増をはじめ、道営土地改良事業や暗渠排水事業といった農業基盤整備の増、そして公営住宅建設費の増などによるものです。

特別会計については、老人保健会計の廃止により100万

円の減、国保会計で療養給付

費、保険財政共同安定化事業拠出金の減により6100万円の減、病院会計で増改築事業費

の減により1億5400万円の減、介護保険会計で100万円の増、簡易水道会計で高台地区

井戸改修により100万円の増、下水道会計では然別湖畔地区に係る特定環境保全公共下水道計画策定により500万円の増、

後期高齢者会計で広域連合納付金の増により1千万円の増となりましたが、特別会計全体では1億9900万円の減となっています。

全会計通算では、2億6500万円の増です。

### 歳入歳出概要

歳入歳出の概要について申し上げます。

歳入のうち、町税については、対前年当初比4.3%増の7億5100万円を計上しました。

地方交付税については、地方財政計画を勘案し、前年6月補正後対比0.9%増の26億1千万円を計上しました。



国・道支出金については、防衛省所管の障害防止対策事業および民生安定施設整備事業の増などにより、58.3%増の約9億4400万円と見込み、計上しました。

基金からの繰入金については、10%増の約8700万円、町債については、9.8%増の約4億1100万円を計上しました。その他の収入については、近年の決算状況および地方財政計画などを勘案し、2%増の約9億5200万円を計上しました。

歳出ですが、経常経費については、新規施策を除き、前年度当初予算と同規模程度となるよう努めました。